

ニュースリリース

2023年3月20日

西アフリカのカカオ生産地における森林再生に向けた2つの取り組みを推進

不二製油グループ本社株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：酒井 幹夫）およびグループ会社である米国ブラマーチョコレートカンパニーは不二製油グループが掲げる「責任あるカカオ豆調達方針」及び2030年サステナブル調達コミットメントにそって、森林再生に向けた2つの取り組みを開始いたしました。

サステナブル調達コミットメント（2020年6月4日公表）

中長期目標		2025	2030	最終目標
カカオ	児童労働撤廃	WFCL* ゼロ	児童労働ゼロ	児童労働撤廃、 森林破壊撲滅
	森林再生	植樹50万本	植樹100万本	

西アフリカに位置するガーナとコートジボワールはカカオ豆の一大生産地で、世界の約7割のカカオ豆を生産しています。チョコレートの需要は世界中で高まる一方、小規模農家が中心の生産体制において様々な社会課題を抱えております。コートジボワールでは、過去30年間で約60%の森林が失われました。これはカカオをはじめとする農産物の拡大が一因となっています。しかし、自然環境の悪化が収量に負の影響を及ぼし、気候変動の一因となり、結果として農民の生計を大きく脅かしています。世界10か国でチョコレート事業を展開する不二製油グループはその中核会社であるブラマー社と共にこれらの課題に対し、森林の保全や再生に向け、衛星画像やAIを用いて農地管理を行うこと、開拓された森林を再生するための植樹、2つの取り組みを行うためにそれぞれの専門企業とパートナーシップを締結いたしました。

■ 森林モニタリング

森林モニタリングの世界的リーダー企業であるサテリジェンス（Satelligence）社とパートナー契約を締結し、衛星画像やAIによるアルゴリズムや農園に関する付随データを用いて、違法な森林伐採や開拓の防止に努めます。

■ 森林植樹

自然を利用したソリューションを専門とするコートジボワールの企業アグロマップ（Agromap）社と提携し、2025年までに約30万本の植樹を行います。植樹では多目的樹木や果樹を植え、農園のアグロフォレストリー、森林再生を推進します。また、農民の所得創出、多様化を目的として土壌の健全性向上に重点を置いた植樹活動を行い、森林再生と同時にCO2吸収、生物多様性の保護にも貢献いたします。

■ サステナビリティと責任ある生産へのコミットメント

不二製油グループは 2030 年のビジョンとして、植物性素材でおいしさと健康を追求し、サステナブルな食の未来を共創することを掲げています。このビジョン達成には原料のサステナビリティは不可欠であり、カカオ生産地や農家へ貢献できることに誇りを持ち、農家とともに課題を解決していくことが当社グループの成長に資すると考えております。



*WFCL: Worst Forms of Child Labor (最悪の形態の児童労働)

以上